

新型コロナウイルス感染症に関する当院の方針

2020年4月7日更新

このたび、日本生殖医学会より声明が出たことはご存知かと思えます。現時点で、妊婦に対して特に妊娠初期の胎児に与える影響、母体から胎児への感染、治療薬の妊娠期における安全性など、不明な点が多いため、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大の危険性がなくなるまで不妊治療の内容を患者さんと話し合うこと、また体外受精はできるだけ胚凍結を行い、胚移植時期を考慮すること、などが推奨されました。

(<http://www.jsrm.or.jp/announce/187.pdf>)

不妊治療のステップは患者さんでそれぞれ異なります。皆さんが同じ方法ではありません。いろいろと不安や相談したいことなどあると思えます。そこで当院では下記のような方針で診療を行います。

診療について

1. 当院では通常の診療体制で診療を行います。
2. 検査や治療目的の手術は今まで通りに行います。
3. タイミング法や人工授精、胚移植など、妊娠に結びつく可能性のある方法は原則中止とし、強く希望される方はご相談ください。
4. 体外受精のための採卵は今まで通り行いますが、原則として全胚凍結とします。
5. そのほか、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大の危険性がなくなるまで、延期可能な治療については延期することがあります。
6. 万一、院内感染等の理由により外来診療を休診する場合、再開されるまで採卵等の体外受精も含め当院での治療は継続不可能となりますので、ご了承ください。
7. 診療中断に伴う治療費の返金等は致しかねます。

感染予防について

1. 職員は毎朝体温測定記録、マスク着用、必要な場合は手袋着用、手洗を頻回にします。
2. 診察室、台は使用ごとに消毒清拭します。
3. 患者さんの熱は基礎体温で判断します。
4. 患者さんもマスク、手指の消毒をお願いしますが、マスクはご自身で持参ください。
5. 少しでも発熱、倦怠感、咳、味覚異常、嗅覚異常などがあるときは来院をお控えください。その際はお電話をお願いします。
6. ご主人にも同様の対策をお願いします。
7. 入院予定の方はその趣旨をご理解いただき、ご不自由をかけることもありますが、よろしくご理解ください。特にご主人以外の面会などは固くお断りします。ご主人にも面会時間など不自由をかけることをご理解ください。

当院では、皆さまが安心して検査・治療に臨めるよう環境整備を行います。本当に不安なことが多くなると思えます。職員全員で皆さまのサポートを行う覚悟です。今は普通の時期ではありません。遠慮なく相談してください。そのうちこの困難な時期も過ぎ去ります。一緒に頑張りましょう。

セント・ルカ産婦人科
院長 宇津宮 隆史